

先進外傷治療学講座

著 書

- 1 井上 聡：外傷における超音波検査. 外傷外科手術マニュアル17章. 医学書院 2016.

原著論文

- 1 Koami H, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Goto A, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Miike T, Nagashima F, Iwamura T, Yamada CK, Inoue S: Utility of Measurement of Serum Lactate in Diagnosis of Coagulopathy Associated with Peripheral Circulatory Insufficiency: Retrospective Evaluation Using Thromboelastometry from a Single Center in Japan. *Journal of Nippon Medical School* Vol.83, No.4, 2016.
- 2 Koami H, Sakamoto Y, Furukawa T, Imahase H, Iwamura T, Inoue S: Utility of Rotational thromboelastometry (ROTEM) for the diagnosis of asymptomatic hyperfibrinolysis secondary to anaphylaxis. *Blood Coagulation and Fibrinolysis* Vol.27, No.4, p.450-453, 2016.
- 3 Koami H, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Miike T, Nagashima F, Iwamura T, Yamada KC, Inoue S: The thromboelastometric discrepancy between septic and trauma induced disseminated intravascular coagulation diagnosed by the scoring system from the Japanese Association for Acute Medicine. *Medicine (Baltimore)* Vol.95, No.31, e4514, 2016.
- 4 *Noguchi N, Inoue S, Shimano C, Shibayama K, Matsunaga H, Tanaka Ishibashi A, Shinchi K: What Kinds of Skills Are Necessary for Physicians Involved in International Disaster Response?. *Prehospital and Disaster Medicine* 31, 4, 1-10, 2016.
- 5 *Noguchi N, Inoue S, Shimano C, Shinchi K: Development and validation of the Humanitarian Aid Difficulty Scale for Japanese healthcare workers. *Nursing and Health Sciences*, 2016.
- 6 *Noguchi N, Inoue S, Shimano C, Shibayama K, Shinchi K: Factors associated with nursing activities in humanitarian aid on disaster relief. *PLOS ONE* 11, 3, e0151170, 2016.
- 7 Miike T, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Goto A, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Koami H, Yamada KC, Fujita R, Nagashima F, Iwamura T, Inoue S: Effects of hyperbaric exposure on thrombus formation. *Undersea Hyperb Med*, 2016.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Koami H, Sakamoto Y, Inoue S: FIBTEM promptly determines massive transfusion of FFP in severe trauma patient. 39th Annual Conference on Shock. 2016, 6, 13.
- 2 Koami H, Sakamoto Y, Yamada KC, Inoue S: Thromboelastometric analysis on the risk factors of return of spontaneous circulation in adult patients with out-of-hospital cardiac arrest. 8th congress of international federation of shock societies in Tokyo. 2016, 10, 5.
- 3 Koami H, Sakamoto Y, Inoue S: Higher concentration of antithrombin administration improve clinical outcome in patients with septic disseminated intravascular coagulation. *Critical Care Canada Forum* 2016. 2016, 10, 31.

国内全国規模の学会

- 1 小網博之, 阪本雄一郎, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 山

- 田クリス孝介, 井上 聡: Thoromboelastometry (ROTEM) を用いた院外心停止症例の来院後自己心拍再開を規定する因子の検討. 第43回日本集中治療医学会学術集会 (シンポジウム15 心肺蘇生・体温管理). 2016, 2, 11-14.
- 2 *藤田 亮, 阪本雄一郎, 後藤明子, 今長谷尚史, 八幡真由子, 小網博之, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: Septic shock を契機に発見された急性骨髄性白血病の一例. 第43回日本集中治療医学会学術集会 (一般演題 ポスター FP). 2016, 2, 11-14.
 - 3 永嶋 太, 阪本雄一郎, 井上 聡, 小網博之: 当施設における外傷に特化した Acute care surgeon 育成プログラム. 第52回日本腹部救急医学会総会 (パネルディスカッション1-06). 2016, 3, 3-4. 第52回日本腹部救急医学会総会 p340.
 - 4 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 山田クリス孝介, 井上 聡: 腹腔内感染源別における凝固障害の機能解析. 第52回日本腹部救急医学会総会 (一般演題5-02). 2016, 3, 3-4. 第52回日本腹部救急医学会総会 p430.
 - 5 永嶋 太, 井上 聡, 岩村高志, 阪本雄一郎, 小網博之: DCS 後腹壁閉鎖困難症例に対する OAM: チュラロンコン大学での方法を学んで. 第30回日本外傷学会 (一般演題28 O-28-1). 2016, 5, 30-31. 日本外傷学会誌 2016. vol.30: no. 2, p255.
 - 6 岩村高志, 櫻井良太, 太田美穂, 小網博之, 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎: enteroatmospheric fistula の管理に難渋した多発外傷1例. 第30回日本外傷学会 (一般演題28 O-28-4). 2016, 5, 30-31. 日本外傷学会誌 2016. vol.30: no. 2, p256.
 - 7 松田知也, 梅香 満, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: バイ貝の摂取によりテトロドキシン中毒を発症し, 経時的なテトロドキシンの血中濃度の測定を行うことができた一例. 第38回日本中毒学会総会・学術集会 (一般演題4). 2016, 7, 23-24. 第38回日本中毒学会総会・学術集会 p202.
 - 8 櫻井良太, 岩村高志, 中山賢人, 西純平, 松田知也, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎: 高度肥満患者の呼吸不全に対し V-V ECMO を導入し, 救命した一例. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会 (一般演題06-4). 2016, 9, 16-17. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会プログラム・抄録集 p104.
 - 9 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 永嶋 太, 櫻井良太, 太田美穂, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 岩村高志, 井上 聡: 敗血症患者の初期治療における優先事項は循環管理である. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会 (一般演題07-6). 2016, 9, 16-17. 第31回日本救命医療学会総会・学術集会プログラム・抄録集 p104.
 - 10 井上 聡, 永嶋 太, 岩村高志: 当院における自己完結型外傷外科チームの発足による新たな重症外傷診療体制. 第8回日本 Acute Care Surgery 学会 (シンポジウム1). 2016, 9, 23-24.
 - 11 山田クリス孝介, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 三池 徹, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太, 井上 聡, 阪本雄一郎: 佐賀県における救急医療への ICT の応用. 第44回日本救急医学会総会 (パネルディスカッション1). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27: no9, p 311.
 - 12 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 線溶亢進は院外心停止症例の蘇生と関連する可能性がある. 第44回

- 日本救急医学会総会（口演13：心肺蘇生）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p427.
- 13 三池 徹, 阪本雄一郎, 岩村高志, 永嶋 太, 小網博之, 山田クリス孝介, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太, 井上 聡：高気圧酸素治療が一酸化炭素中毒患者の凝固系に及ぼす影響（TEG 6sを用いて）. 第44回日本救急医学会総会（口演30：中毒）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p445.
- 14 ○福地絢子, 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 西 純平, 太田美穂, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡：複数の症候を合併した神経因性食思不振症の集学的治療に成功した1例. 第44回日本救急医学会総会（学生・研修医セッション ポスター7）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p392.
- 15 松田知也, 岩村高志, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎：Damage Control戦略を用いることで, 救命できた広範大腸虚血の1例. 第44回日本救急医学会総会（ポスター13：消化器感染症）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p512.
- 16 井上 聡, 永嶋 太, 櫻井良太, 太田美穂, 小網博之, 岩村高志, 阪本雄一郎：当院における重症外傷患者診療の改革. 第44回日本救急医学会総会（ポスター27：外傷診療体）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p527.
- 17 小網博之, 阪本雄一郎, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 山田クリス孝介, 井上 聡：重症外傷患者に対するMTPを補完するためにThromboelastometryをいかに活用すべきか?. 第44回日本救急医学会総会（パネルディスカッション6）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p317.
- 18 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 小網博之, 三池 徹, 八幡真由子, 太田美穂, 梅香 満, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 山田クリス孝介：敗血症患者のSOFA分析から考える重症度評価について. 第44回日本救急医学会総会（口演33：敗血症, 重症度評価と予後判定1）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p448.
- 19 三池 徹, 阪本雄一郎, 岩村高志, 永嶋 太, 小網博之, 山田クリス孝介, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太, 井上 聡：感染症患者における血小板機能の変化（T-TAS®の解析から）. 第44回日本救急医学会総会（口演34：敗血症, 重症度評価と予後判定2）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p449.
- 20 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡：当院集中治療室での遺伝子組み換えアンチトロンビン製剤の使用状況ならびにその効果. 第44回日本救急医学会総会（口演35：敗血症, 治療1）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p450.
- 21 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎, 岩村高志, 太田美穂, 櫻井良太, 松田知也：外科的固定術を施行したフレイルチェスト6例の検討. 第44回日本救急医学会総会（口演39：胸部外傷）. 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27：no 9, p454.
- 22 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡：Thromboelastograph（TEG® 6s）とThromboelastometry（ROTEM®delta）は相関するか?. 第44回日本救急医学会総会（口演47：ME・医療機器）. 2016, 11,

- 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9 , p463.
- 23 梅香 満, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 受傷前における胸水の存在が早期診断を困難にした外傷性血胸の1例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター69: 胸部外傷2). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9 , p569.
- 24 櫻井良太, 永嶋 太, 梅香 満, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 小網博之, 三池 徹, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 明らかな胸腹部外傷の合併なく発症した横隔膜ヘルニアの一例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター72: 外傷一般3). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9 , p573.
- 25 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: Thrombelastograph (TEG 6®s) の線溶亢進の診断能について. 第44回日本救急医学会総会 (口演69: 血液凝固異常線溶異常). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9 , p487.
- 26 西 純平, 小網博之, 阪本雄一郎, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 早期からの集学的治療により救命し得たマイコプラズマ肺炎による重症 ARDS の1例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター90: 呼吸器感染症). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9 , p591.
- 27 太田美穂, 小網博之, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎, 小野南月: 血栓予防としてのヘパリンの濃度調整に Thrombelastograph (TEG) 6s を使用した2症例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター104: 集中治療2). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9 , p606.
- 28 中山賢人, 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 血液浄化を行わずに救命し得たパラコート中毒の1例. 第44回日本救急医学会総会 (ポスター109: 中毒6). 2016, 11, 17-19. 日本救急医学会誌 Vol27 : no 9 , p611.
- 29 小網博之, 阪本雄一郎, 井上 聡: Impact of haptoglobin on the association between inflammation and coagulation in a rat burn model. 第38回日本血栓止血学会 SPC シンポジウム. 2016, 6, 16. 日本血栓止血学会誌 Vol27 : no 2 , p152.
- 30 小網博之, 阪本雄一郎, 山田クリス孝介, 宮庄 拓, 井上 聡: 塩酸誤嚥ラットモデルにおけるリコモジュリンの抗炎症効果について. 第23回外科侵襲とサイトカイン研究会. 2016, 7, 9. 第23回外科侵襲とサイトカイン研究会 p23.
- 31 井上 聡, 永嶋 太, 小網博之, 岩村高志, 阪本雄一郎: 当院における外傷外科チームの発足と治療成績. 第116回日本外科学会定期学術集会 (ポスターセッション187). 2016, 4, 14-16.

地方規模の学会

- 1 永嶋 太, 小網博之, 岩村高志, 阪本雄一郎, 井上 聡: 当院におけるフレイル Chest に対する治療戦略. 第8回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 (一般演題6). 2016, 3, 23. 2016日本臨床外科学会雑誌 平成28年第77巻10号, p208.
- 2 永嶋 太, 小網博之, 岩村高志, 阪本雄一郎, 井上 聡: 重症外傷診療における off the job training course 受講とシミュレーション教育の重要性. 第9回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 (一

般演題7). 2016, 3, 23. 2016日本臨床外科学会雑誌 平成28年第77巻10号, p209.

- 3 今長谷尚史, 松尾照美, 阪本雄一郎, 阪本典子, 片岡典子, 太田美穂, 小網博之, 三池 徹, 櫻井良太, 八幡真由子, 梅香 満, 岩村高志, 永嶋 太, 井上 聡, 山田クリス孝介: 当院救急IC開設におけるチーム医療推進についての紹介. 第26回日本集中治療医学会九州地方会(一般演題「患者管理・その他」B-46). 2016, 6, 25. 第26回日本集中治療医学会九州地方会プログラム・抄録集 p74.

その他の学会

- 1 井上 聡: 座長. 第8回日本 Acute Care Surgery 学会. 2016, 9, 23-24.
- 2 井上 聡: 委員. 日本外傷学会国際委員会. 2016, 11, 7.
- 3 井上 聡: 演者 佐賀大学病院における外傷外科診療の立ち上げ～チームビルディングの重要性～. 第26回佐賀大学医学部麻酔蘇生学教室同門回総会特別講演(演者). 2016, 5, 7.
- 4 井上 聡: 演者 外傷救急医療最前線. 福岡市救急病院協会. 2016, 3, 23.
- 5 井上 聡: インストラクター, コースコーディネーター. 外傷外科手術戦略コース SSTT. 2016, 9, 3.
- 6 井上 聡: インストラクター. 外傷外科手術コース ATOM. 2016, 5, 19-20.
- 7 井上 聡: instructor. Advanced Surgical Skills for Exposure in Trauma American College of Surgeons. 2016, 5, 28-29.
- 8 井上 聡: 国際ファカルティー, インストラクター. Defenitive Surgical Trauma Care. 2016, 6, 1-3.